

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ~ 平成30年3月31日
調査研究事項	<p>委託研究</p> <p>ア．夜間中学未設置の道県におけるこれまでの調査研究の結果等の分析</p> <p>イ．夜間中学設置に係るニーズ調査手法の検討</p> <p>ウ．夜間中学設置に係るニーズ調査の手法のモデル化</p>
調査研究のねらい	<p>1 夜間中学に関するこれまでの調査研究結果、統計資料、実在校（夜間中学、自主夜間中学）のHP等から、夜間中学に関する現状の状況を捉える。</p> <p>1 合わせて、有識者（夜間中学研究者）、夜間中学関係者（既存校校長、自主夜間運営者）に対するヒアリング調査を通じて、最終的なガイドラインに必要な要素、ガイドラインの利用の仕方を仮説として作成する。</p> <p>1 また、これらの研究から次に実施する夜間中学関係者、生徒に対するアンケート調査の内容を決める。</p> <p>1 実際に夜間中学に通う人たちがどのような経路で夜間中学の存在を知り、通うことになったのか、きっかけと周囲の支援・協力の実態を既存校の生徒及び関係者へのアンケートから捉える。</p> <p>1 これらアンケート結果から、ニーズを捉えるためのターゲット、その捉え方などを整理・明確化する。</p> <p>1 これら調査・分析結果から、ガイドラインのフレームを作成し、その妥当性や実施可能性について、有識者を交えた検討会を行い具体化する。</p> <p>これら研究結果、検討を踏まえて、実際にニーズ調査を実施するためのガイドラインを作成する。</p>
調査研究の成果	<p>1 これまでに実施されたニーズ調査を見ると、当事者を対象に入学意思を問うような形となっており、それが回収数の少なさの原因と考えられる。</p> <p>1 夜間中学入学につながるルートを確認する目的で、夜間中学31校、自主夜間中学34校の生徒、指導者に郵送調査を実施した。結果計48校（回収率74%）から回答があり、指導者365件、生徒786件の回答を得た。</p> <p>1 入学する前に夜間中学を知ったきっかけや紹介してくれた人、勧めてくれた人を聞いたところ、夜間中学生徒の87%は誰かに紹介されたことがきっかけであり、71%の生徒は勧め</p>

	<p>てくれる人がいたと答えた。このことから、夜間中学入学までには周囲からの紹介や勧めが重要であることがわかる。</p> <p>1 このような周囲の方々が夜間中学設置ニーズの入り口と考え、当事者以外の人のニーズの捉え方を示すことを今後のニーズ調査のガイドラインに取り込むこととした。</p> <p>1 また、この周囲の方々には、肉親や友人・知人の他、昼間学校の先生や社会福祉関係者なども含まれ、幅広く周囲の方から当事者につながるニーズを捉えることが必要であると考えられる。</p> <p>1 これらの調査結果を踏まえ、夜間中学設置ニーズを当事者本人だけではなく、当事者の周囲も含めた設置を期待するニーズと定義し、これを捉える方法を呈示することとした。</p> <p>1 実施を想定し、はがきアンケートを設置する方法での調査、対象となる先を特定しアンケートに答えてもらう方法での調査について、具体例を示し、調査結果をどのようにまとめるべきかなどアンケートを実施する上での必要な留意点、方法をまとめた。</p> <p>1 また、統計データをつかって現状の夜間中学生徒数と潜在的入学対象者数との関係からモデル式を作成、アンケート調査以前に統計データから潜在的ニーズを推計する方法を示した。</p>
--	---